

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	Academic English for the Second Year II		
英文授業科目名	Academic English for the Second Year II		
開講年度	2008年度	開講年次	2年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化応用科目 I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	本間 章郎		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>限られた時間の中で、できるだけ辞書を引かないで、ある一定の長さの英文を的確に把握できるような英語の能力の育成に重点をおきたいと思えます。実用的な英語の力として、意味のわからない単語や、表現などを前後の文脈から類推していく能力が必要です。この授業では練習問題を通して、そうした能力を伸ばしていきながら、英語を読み進めていく力を育ててほしいと思えます。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
Academic Spoken English IおよびAcademic Spoken English II

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
Academic English for the Second Year I

【教科書等】
教科書：The Powerful Reader, Second Edition (『英文購読の新技术・改訂新版』) Beth M. Pacheco他著 マクミラン ランゲージハウス

電気通信大学 平成20年度シラバス

【授業内容とその進め方】

(a)授業の内容

テキストの問題を使った小テストを実施して、内容をどれだけ把握することができたのか確認しながら、テキストを進めていきます。できるだけたくさんの、授業に出席している人に質問を当てたいと思います。必ず辞書は持参してください。

(b)授業の進め方

前期は、教科書の第7章（予定）から第12章まで進めたいと考えています。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

学期末テストを中心に、出席点（皆勤者にのみ）、小テスト、授業における平常点を加算して総合的に成績評価をおこないます。単位取得には、基本的に学期末テストで60点以上の点数を取ることを目指してください。もちろん、欠席の回数によって、成績評価の対象にならないこともあるので注意してください。

【オフィスアワー：授業相談】

授業の始まる前に相談をしたい方は、始業時間前に非常勤講師控え室の方に来てください。

【学生へのメッセージ】

英文のレベルは、大学生にとって中ぐらいのレベルで、わかりやすい内容です。重要な単語や表現を習得しながら、段階的に内容を理解できるように教科書は構成されているので、英語が苦手な方も、積極的に授業に参加してもらえればと思います。

【その他】